

「」見つけた



約30年ぶりに再発見された「コウベタヌキノシヨクダイ」
|| 2021年5月、三田市(末次健司教授提供)



神戸大の末次健司教授(植物生態学)らのチームは27日、ガラス細工のような花を咲かせることから「妖精のランプ」とも呼ばれる植物「コウベタヌキノシヨクダイ」|| 写真

真||を兵庫県で見つけたと発表した。1992年に神戸市の森で1個体が見つかっただけの植物で、既に絶滅したと考えられていた。チームによると、茎の高さ約1ミ、花の大きさ約1センチで、光合成をせず地中の菌類から栄養分を吸い上げる植物。薄暗い森の地面を照らすような幻想的な姿が特徴だ。

チームが植物の生態調査で2021年、三田市の森で見つけた。約30年前に発見された神戸市の自生地は開発で消滅しており、末次教授は「再発見できうれしい。これを機に保護が進むことを期待したい」と話した。

神戸大教授ら の植物、30年ぶり三田で

①見出しの空欄に言葉を埋めましょう

「」
の植物

②何年ぶりの再発見ですか

年ぶり

③コウベタヌキノシヨウダイはどんな植物ですか。空欄を埋めましょう

のような花を咲かせる。薄暗い森の地面を
のような幻想的な姿が
特徴だ

なまえ【】